

# FeliSafe<sup>®</sup>/Lite for Windows

ユーザーズマニュアル



第 5 版  
2003 年 10 月 15 日

Yutaka Electric Mfg.Co.,Ltd.

Windows NT / 2000 / XP / 2003、Windows 95 / 98 / 98SE / ME は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。  
FeliSafe®は、株式会社ユタカ電機製作所の登録商標です。

1. 本書および本ソフトウェアは、株式会社ユタカ電機製作所が著作権を保有しています。
2. 本書および本ソフトウェアの内容の一部あるいは全部について複写、複製することは禁じられております。
3. 本書または製品の内容につきましては、将来予告無しに変更することがあります。
4. 製品の取り扱いにつきましては、取扱説明書などをよくお読みください。
5. 製品の内容につきましては万全を期しておりますが、万一不可解な点や、誤り、お気付きのことがありましたら、下記の住所に御一報くださいますようお願いいたします。
6. 運用の結果の影響については上記事項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 目 次

---

### 第 1 章 はじめに

- 1 - 1 Ferisafe/Lite for Windows の機能 1
- 1 - 2 Ferisafe/Lite for Windows の動作 1

### 第 2 章 ソフトウェアのインストールとスタート

- 2 - 1 動作環境 2
- 2 - 2 ハードウェアの準備 2
- 2 - 3 インストールの方法 3
- 2 - 4 プログラムの実行 4
- 2 - 5 動作確認 5

### 第 3 章 操作方法

- 3 - 1 アプリケーション画面の説明 6
- 3 - 2 各種機能の説明
  - ( 1 ) 停電時の動作の仕方 8
  - ( 2 ) 待機時間設定 9
  - ( 3 ) UPS 設定 9
  - ( 4 ) イベント記録 10
  - ( 5 ) イベント設定 10
  - ( 6 ) イベントの種類 10
  - ( 7 ) 記録設定 11
  - ( 8 ) プログラム設定 11
  - ( 9 ) メッセージ送付設定 12
  - ( 10 ) メッセージを受け取る方法 13
- 3 - 3 その他機能の説明
  - ( 1 ) シャットダウンの取り消し 15
  - ( 2 ) 動作記録確認 15
  - ( 3 ) ソフトウェアの削除 16
  - ( 4 ) バージョン表示 16
  - ( 5 ) ヘルプ表示 16

# 第 1 章 はじめに

---

## はじめに

FeliSafe/Lite for Windows をお使いいただく前に UPS のユーザズマニュアルを読んで UPS の使用方法を十分にご理解ください。

マニュアルに記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

### 留意事項

いかなる場合においても、この製品(FeliSafe/Lite for Windows)の使用や使用中の問題から生ずる、いかなる損害(事業利益の損失、情報の損失、事業の中断や停止、その他の金銭的、物理的損害を含むもの、及びその他の各損害)に関して、一切の責任を負わないものとします。

## 1 - 1 FeliSafe/Lite for Windows の機能

FeliSafe/Lite for Windows は UPS の動作状態を監視し電源の異常発生時にオペレーティングシステム (Windows) を安全に停止させます。

UPS<sup>1</sup>は停電によるコンピュータのデータの破壊や喪失を防ぐ機能を提供しますが、そのバックアップ電源には限界があります。

そのため、バックアップ電源のバッテリーがなくなる前にシステムを停止しなければ、システムの破壊を招くことになり、UPS の使用は無意味なものになってしまいます。

そのような状況を防ぐために FeliSafe/Lite for Windows は UPS のバッテリーがなくなる前に自動的にシステムを停止します。

また、UPS の動作状況に応じた動作の記録やコマンドの実行、ネットワークへのメッセージの送付などを行うことが可能です。

## 1 - 2 FeliSafe/Lite for Windows の動作

FeliSafe/Lite for Windows は UPS 監視モジュールとモニタモジュールの 2 つのプログラムで構成されています。

### 監視モジュール

監視モジュールはバックグラウンド (見えない状態) で動作し UPS の監視や電源異常発生時のコンピュータシステムの停止、およびそのほかのすべての機能を有しています。

### モニタモジュール

モニタモジュールはユーザーと監視モジュールの間の連絡を行い、UPS 状態や動作記録の表示機能、各種設定動作を提供します。

---

<sup>1</sup> UPS  
無停電電源装置 (Uninterruptible Power Supply)

## 第2章ソフトウェアのインストールとスタート

---

### 2 1 動作環境

FeliSafe/Lite for Windows の動作は、以下の環境で動作します。

- ・ シリアルポート (COM) がある DOS/V PC/AT パソコンまたはコンパチブルパソコン
- ・ 日本語 Microsoft Windows95 / 98 / 98SE / Me (以降、Windows95 と呼びます。) または  
日本語 Microsoft WindowsNT Ver4.0 / 2000 / XP / 2003(以降、WindowsNT と呼びます。)
- ・ UPS (ユタカ電機製作所の製品に限ります。)

ユタカ電機製作所製品以外の UPS での動作は保証できません。

### 2 - 2 ハードウェアの準備

1. UPS のマニュアルを参照して UPS を動作可能な状態に設定します。

2. 通信ケーブルを接続します。

パッケージに入っている専用通信ケーブルで UPS の通信ポート (SIGNAL (接点)) とパソコンのシリアルポート (COM) を接続します。

**ケーブルが不用意に外れないようコネクタは必ずネジ止めしてください。**

接続したパソコンのポート番号はソフトウェアのインストール時に設定が必要ですので、ポートの番号を確認しておいてください

3. 電源の接続

コンピュータの電源コードを UPS の出力コンセント (UPS OUTPUT) に接続してください。その他、停電時に電源のバックアップが必要な周辺装置がある場合は、これも UPS へ接続してください。UPS の出力コンセントが足りない場合は、市販の 0A タップ等をご用意ください。(但し接続できる電源容量は UPS により異なりますので、接続する前にご確認ください。)

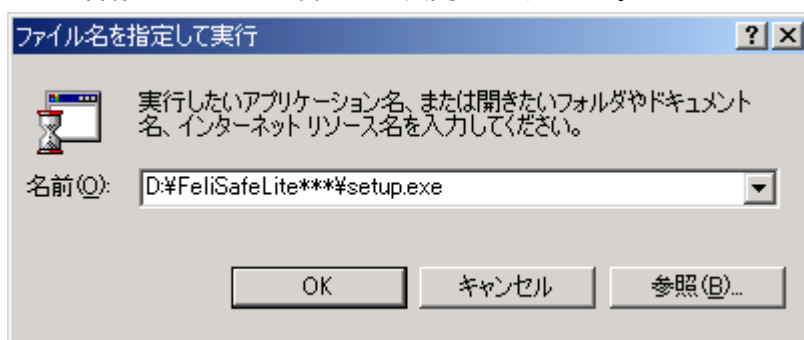
**電源容量の関係から、プリンタ等停電時に停止しても差し支えない周辺装置の電源は、一般のコンセントに接続することをお勧めします。**

## 2 - 3 インストールの方法

### 1. インストールプログラムの実行

付属の CD-ROM をコンピュータにセットし、オペレーティング・システムの「スタート」ボタンより「ファイル名を指定して実行」を選択し、以下のように入力後「OK」を押してください。インストーラはフォルダ FeliSafeLitexxx に格納されています。

- ・インストール・プログラムの実行 : D:¥FeliSafeLite\*\*\*¥Setup.exe  
“ \*\*\* ” は UPS 監視ソフトのバージョン (例 : 4.0 400, 4.01 401) になります。  
正確には、「エクスプローラ」等でご確認ください。  
ドライブ名は、CD-ROM ドライブが “ D : ¥ ” ドライブの場合になります。  
お客様のシステムに合わせて変更してください。



### 2. インストール場所の指定

SETUP.EXE が起動しますとインストールディレクトリ (フォルダ) を確認してきますので必要ならばインストールするディレクトリ (フォルダ) を入力し直してください。



### 3. 接続ポートの指定

プログラムファイルのコピー終了後、UPS の接続ポート設定画面が表示されますので接続したポートを指定してください。



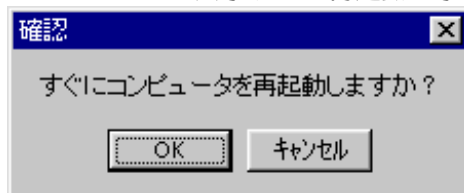
#### 4. プログラムフォルダへの登録

**FeliSafe/Lite for Windows** を登録するプログラムフォルダを設定します。



#### 5. コンピュータの再起動

インストールが終了すると再起動を求められますのでコンピュータを再起動してください。



再起動を行うことにより **FeliSafe/Lite for Windows** が動作を開始します。

## 2 - 4 プログラムの実行

**FeliSafe/Lite for Windows** は Windows の動作とともに自動的に起動されます。

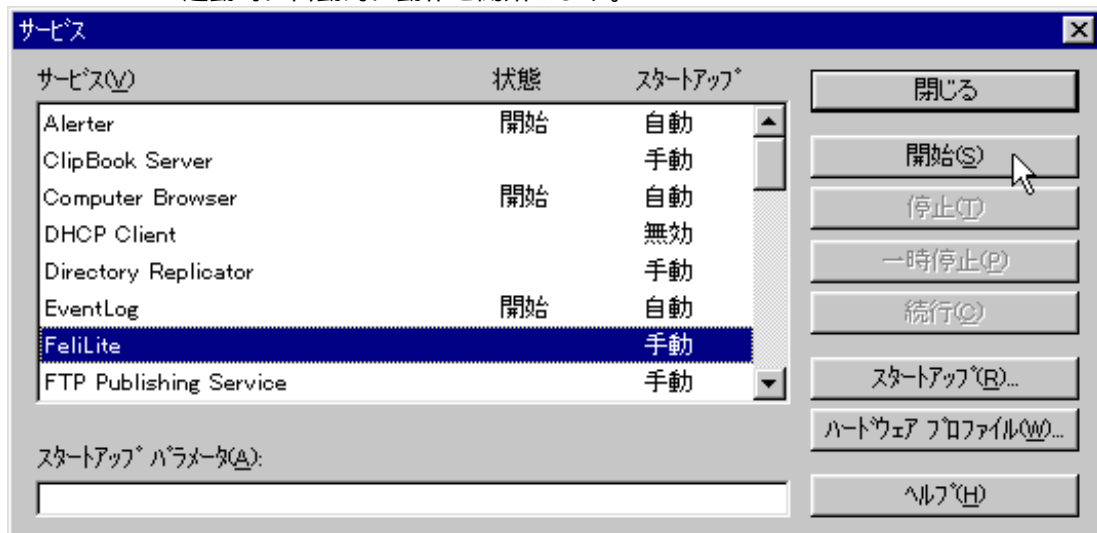
#### ・ Windows95 の場合

Windows の起動とともに動作を開始します。

#### ・ WindowsNT の場合

**FeliSafe/Lite for Windows** は WindowsNT のサービスとして起動を開始します。

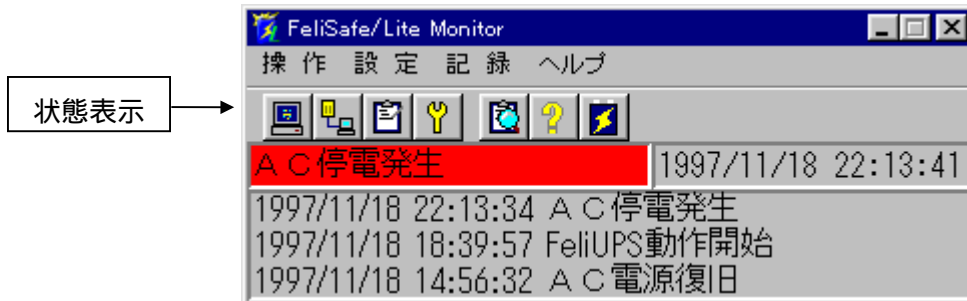
WindowsNT 起動時に自動的に動作を開始します。



## 2 - 5 動作確認

タスクトレイ上のモジュールアイコンをダブルクリックしてメイン画面を表示させます。(5ページ参照)

次に UPS 本体の AC コネクタを抜き、疑似停電を発生させてください。その時に以下の画面のように状態表示が “ AC 停電発生 ” の表示がされれば、動作確認は完了となります。



\* 動作確認ができないときは「通信ケーブル」の接続確認、FeliSafe/Lite の「COMポート」設定、メイン画面のみの再起動（スタートメニューより）をお願いします。

(注) 下記のタスクトレイアイコン上に FeliSafe/Lite のモジュールアイコンが表示されていない状態では停電時にシステムの自動シャットダウン動作は行いませんので注意してください。





## 第3章 操作方法

### 3 - 1 アプリケーション画面の説明

#### タスクトレイアイコン

起動時点でモニタモジュールはタスクトレイアイコン状態で起動されます。



モニタモジュールアイコン上でマウスクリックを行うことでメニューが表示されます。メイン画面を表示する場合は、そのメニューの「元のサイズに戻す」を選択するかアイコン上でマウスのダブルクリックを行うことでメイン画面の表示が行えます。

#### メイン画面（モニタモジュール）の構成



#### メニュー

以下のメニュー項目があります。

##### 操作

シャットダウン取消

##### 設定

プロパティ

イベント設定

##### 記録

記録確認

##### ヘルプ








FeliSafe/Lite ヘルプ

FeliSafe/Lite について

## ツールバー



ツールバー上のボタンを押すことにより、下記に示した操作を行います。

	シャットダウン待機時間設定		UPS 接続設定
	イベント記録設定		イベント設定
	イベント記録表示		FeliSafe/Lite ヘルプ
	FeliSafe/Lite について		

## 状態表示

UPS の動作状態を表示します。

動作状態には以下の項目があります。

FeliUPS 動作開始	UPS 監視モジュールが起動中です。
A C 通電中	正常運転状態です。
A C 停電発生	停電が発生した場合です。
A C 電源復旧	電源が復旧しました。
シャットダウン待機	シャットダウンの待機中です。
シャットダウン開始	シャットダウンを開始しました。
シャットダウン取消し	シャットダウンが取り消されました。
UPS 接続失敗	UPS と UPS 監視モジュールが通信できませんでした。
バッテリー容量低下	UPS のバッテリー容量が低下しました。

UPSmini500 では、「UPS 接続失敗」イベントは対応しておりません。

## 時刻表示

現在の時刻（日時）を表示します。

## 最新イベント表示

最近発生したイベントを 3 件まで表示します。

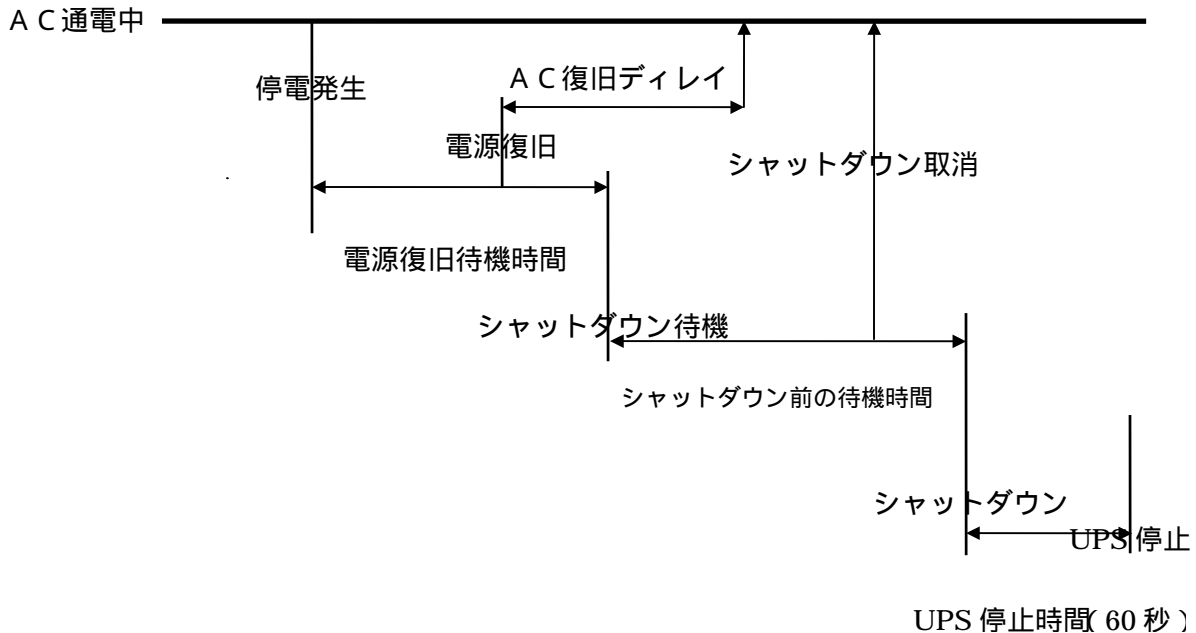
プロパティ設定、イベント設定のイベント記録の有無に関係なく全てのイベントが表示されません。

## 3 - 2 各種機能の説明

### 3 - 2 - (1) 停電時の動作

停電が発生した場合に FeliSafe/Lite for Windows は以下のような手順でシャットダウン<sup>2</sup>を行います

時間



(用語解説)


電源復旧待機時間	停電発生から電源が復旧するまでの待機時間
AC 復旧デレイ	電源が復旧した後、再度停電発生の有無を確認する時間
シャットダウン前の待機時間	シャットダウン前のプログラム実行を処理する時間
シャットダウン取消し	シャットダウン動作の取消し処理
UPS 停止時間	シャットダウン開始から UPS の停止時間 (60 秒固定)

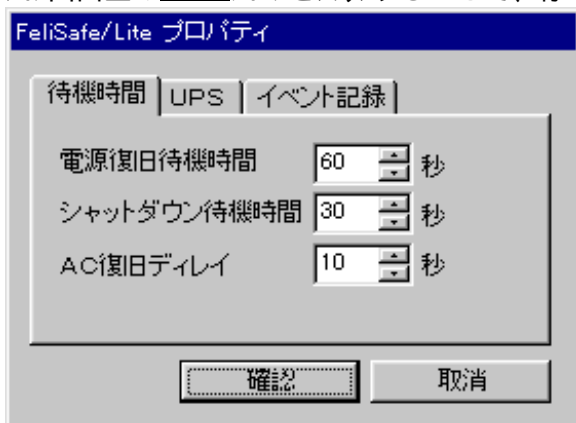
<sup>2</sup> シャットダウン

Windows95 では Windows の終了と表現されています。

FeliSafe/Lite for Windows によって「Windows95 の終了 コンピュータの電源を切れる状態にする」動作と同等の終了処理が行われます。

### 3 - 2 - ( 2 ) 待機時間設定


メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、停電時の動作における各待機時間を設定できます。

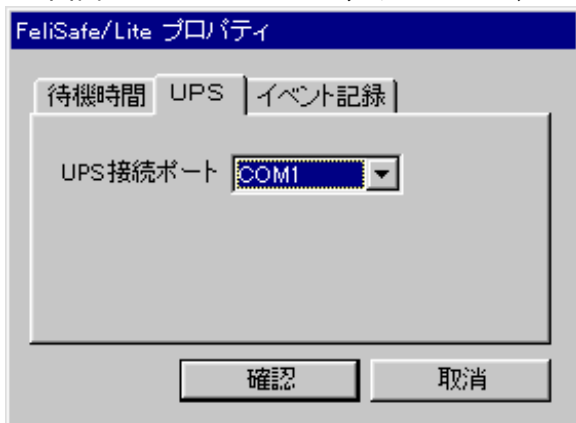


各設定値は { 電源復旧待機時間 + シャットダウン待機時間 + 60秒 [ シャットダウン後 UPS が停止するまでの時間 ] } が UPS のバックアップ時間を超えないように注意してください。


(注) UPS のバックアップ時間は UPS により異なります。UPS のバックアップ時間をご確認の上設定してください。

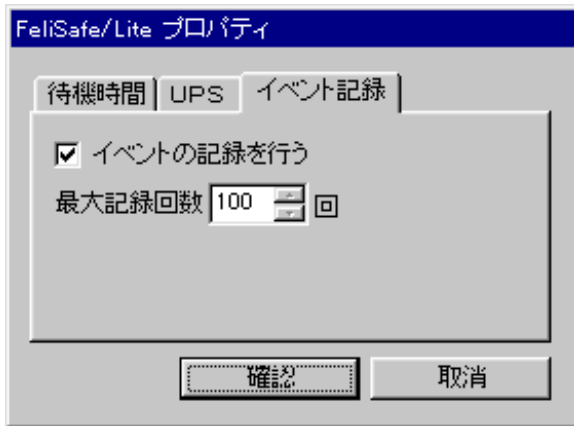
### 3 - 2 - ( 3 ) UPS 設定

メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、UPS の接続ポートを設定できます。



## 3 - 2 - ( 4 ) イベント記録

メイン画面上的の  アイコンをクリックすることで、イベントの記録を行うかどうか設定できます。

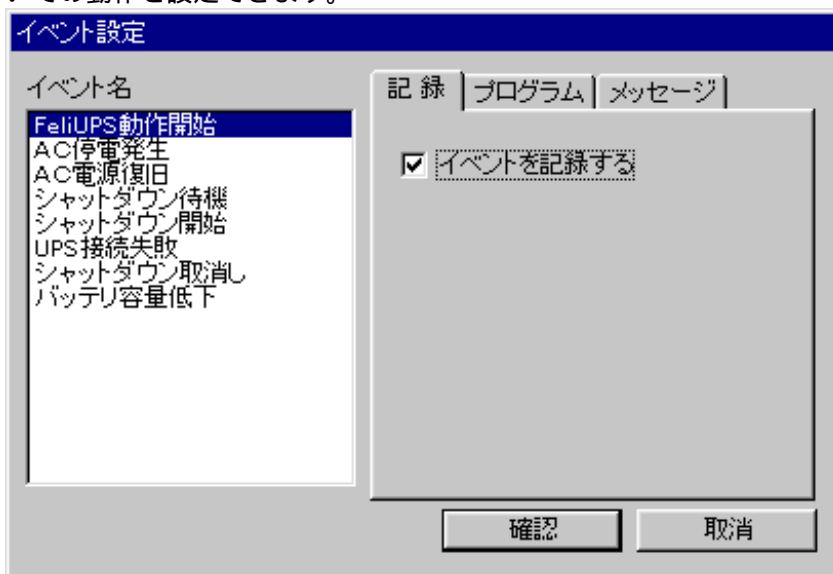


イベントを記録する場合は「イベントの記録を行う」をチェックし最大何回の記録を残すか回数を指定してください。

(各イベントごとの記録の有無はイベント設定にて行います)

## 3 - 2 - ( 5 ) イベント設定

メイン画面上的の  アイコンをクリックすることで、FeliSafe/Lite for Windows が対応する各イベントについての動作を設定できます。



## 3 - 2 - ( 6 ) イベントの種類

設定可能なイベントは以下のイベントです。

FeliUPS 動作開始	A C 停電発生	A C 電源復旧
シャットダウン待機	シャットダウン開始	UPS 接続失敗
シャットダウン取消し	バッテリー容量低下	

バッテリー容量低下：バックアップ時間の限界を超えたときに発生するイベントです。

このイベントが発生した場合は直ちにシャットダウンが開始されます。

UPS 接続失敗：このイベントが発生したときにはケーブルの接続の確認と COM ポートの設定の確認をお願いします。

UPSmini500 では、「UPS 接続失敗」イベントは対応しておりません。

### 3 - 2 - ( 7 ) 記録設定

各イベントの発生を記録するかどうかを指定します。



記録する場合は「イベントを記録する」をチェックしてください。

### 3 - 2 - ( 8 ) プログラム設定

イベント発生時に任意のプログラムを開始するように設定できます。

「コマンドを実行する」をチェックしプログラムを指定してください。



「参照」ボタンによりダイアログボックスからのプログラムの選択を行い指定することも可能です。



「参照」ボタンによりダイアログボックスからのプログラムの選択を行い指定することも可能です。



### 3 - 2 - ( 9 ) メッセージ送付設定

イベント発生時にネットワークメッセージを送付することが可能です。

メッセージを発行する場合は「メッセージ送付を行う」をチェックしてください。

**(ご注意)** この機能は Windows NT をお使いの場合のみ利用可能な機能です。



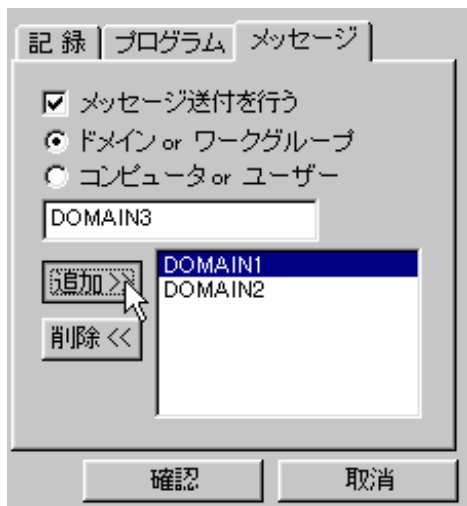
メッセージの送付対象を「ドメイン or ワークグループ」または「コンピュータ or ユーザー」より選択してください。

**(ご注意)** Windows95 の場合はユーザーを対象にしたメッセージの送付はできません。

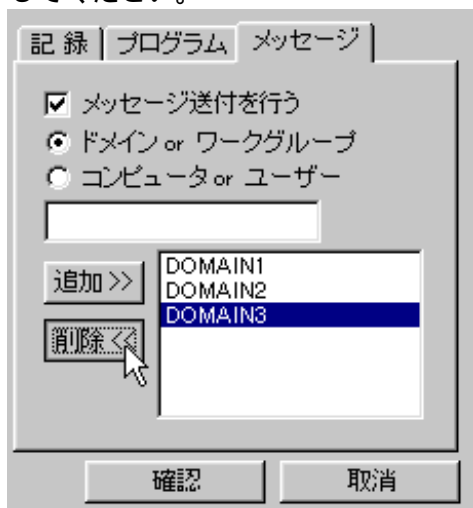
メッセージ送付対象にあわせた送付先を指定します。

- ドメイン or ワークグループ
- コンピュータ or ユーザー

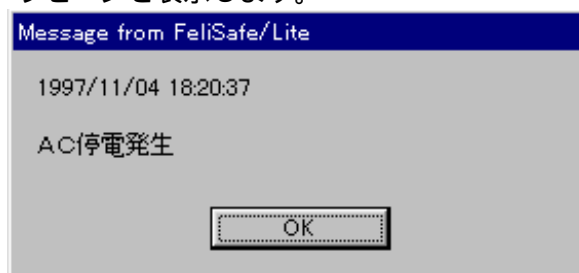
送付先の名称をエディットボックスに入力し、「追加>>」ボタンを押すことにより送付対象を設定します。



送付先を削除する場合は送付先一覧より削除したい送付先を選択し、「削除<<」ボタンを押してください。



Windows95 の場合には、「メッセージ送付を行う」をチェックしないとメッセージ表示ダイアログボックス<sup>3</sup>を FeliSafe/Lite for Windows が動作しているコンピュータ画面上にメッセージを表示します。



### 3 - 2 - ( 1 0 ) メッセージを受け取る方法

#### Microsoft Windows95 の場合

Winpopup.exe を起動しておく必要があります。 Winpopup.exe の起動はスタートアップのファイル名

<sup>3</sup> ダイアログボックス  
データを入力する場合や情報を提供する場合に表示されるウィンドウ



を指定して実行を起動し、名前に winpopup と入力します。



### Microsoft WindowsNT の場合

コントロールパネルのサービスにおいて Messenger サービスが開始されていることをご確認してください。




## 3 - 3 その他機能の説明

### 3 - 3 - (1) シャットダウン取消

操作メニューのシャットダウン取消を選択することで、シャットダウン待機中にシャットダウン動作を取り消します。

シャットダウン待機中になった後に電源の復旧が行えた場合などにシャットダウンを行わないように操作しますが、電源が復旧していない場合に取り消しを行いますと Windows のシャットダウンを行わないで電源が切れてしまいますのでご注意ください。

### 3 - 3 - (2) 動作記録確認

メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、記録設定対象のイベントの記録を表示します。



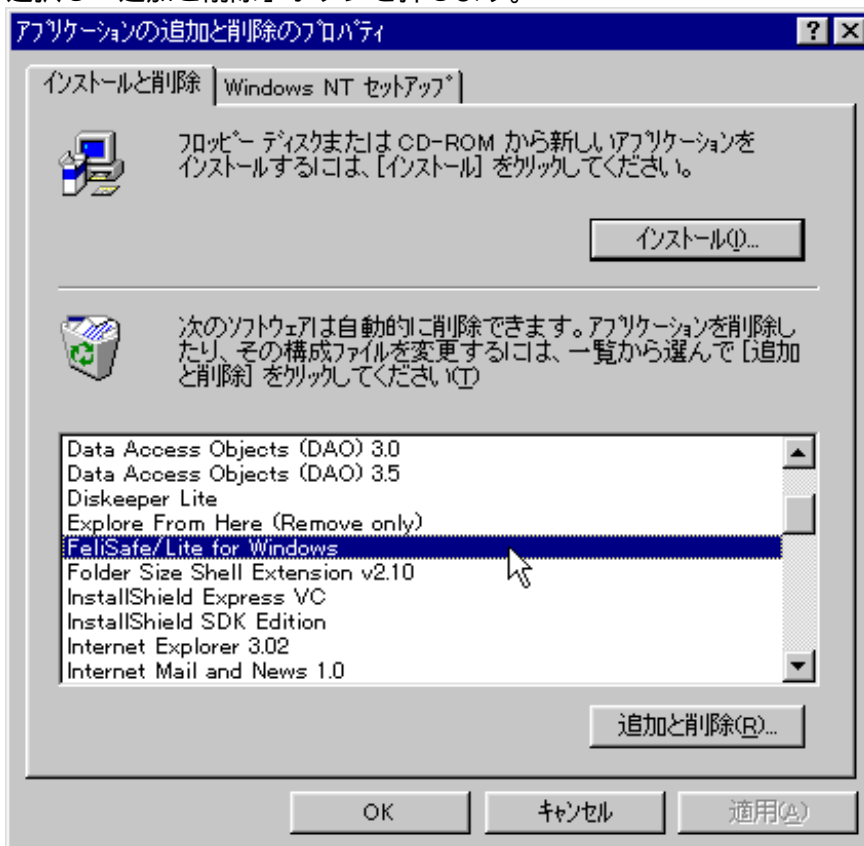
プロパティで「イベント記録を行う」をチェックしてある場合に、イベント記録をするように設定してあるイベントのみ記録されます。

### 3 - 3 - ( 3 ) バージョン表示

メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、FeliSafe/Lite for Windows のプログラムバージョンを表示します。

### 3 - 3 - ( 4 ) ソフトウェアの削除

1.コントロールパネルのアプリケーションの追加と削除より **FeliSafe/Lite for Windows** を選択し「追加と削除」ボタンを押します。



2.コンピュータを再起動します。

再起動時に完全にファイルを削除しますので必ず再起動を行ってください。

### 3 - 3 - ( 5 ) ヘルプ表示

メイン画面上の  アイコンをクリックすることで、FeliSafe/Lite for Windows のヘルプを表示します。

# FeliSafe®/Lite for Windows

## 【本 社】

〒211-0022 神奈川県川崎市中原区荻宿 2 2 8 番地

TEL 044-435-4549

FAX 044-435-4556

<http://www.yutakadenki.jp>

[UPSSALES@po.yutakadenki.co.jp](mailto:UPSSALES@po.yutakadenki.co.jp)

## 【フィールドサービス】

TEL 0494-24-5015

新日鐵グループ

株式会社ユタカ電機製作所